

黒毛和種子牛市場における産子番号と市場成績及び育種価表示

【1 成果の概要】

- 近年の産子番号別頭数は産子番号1～5の頭数が少なく、特に産子番号1及び2の若い雌牛からの生産頭数が少なくなっており、生産基盤の脆弱化が窺えます(図1)。
- 県内で開催された黒毛和種子牛市場成績を集計した結果、雌子牛では、日齢は産子番号4～7で低く、体高は産子番号2～6で高く、体重は産子番号2～8で高くなりました。雌子牛の発育は概ね初産である産子番号1と産子番号9以降が小さく、産子番号2～8のときが良好でした(表)。
- 産肉能力育種価は、産子の枝肉成績が出始める産子番号4以降で判明割合が上昇しています。また、脂肪交雑の育種価評価表示は、上位1/10以上(H)の高い育種価を有する子牛は産子番号4～8に多く、とくに産子番号5で最も高くなりました(図3)。

表 産子番号と子牛市場成績(平成24年4月～平成27年3月)

去勢	日齢	子牛市場成績				価格	雌	日齢	子牛市場成績				価格
		体高	体重	体型	日齢				体高	体重	体型	日齢	
平均	290.1 **	118.5 **	306.5 **	1.06 **	497,669 **	平均	295.5 **	114.0 **	275.0 **	0.93 **	413,568 **		
1	3,359	0.5 B	0.2 CD	0.7 DE	0.00 G	1	2,512	1.9 AC	-0.1 D	0.2 AB	1.3 ABC	20,732 A	
2	3,743	0.5 B	0.2 CD	0.7 DE	0.00 G	2	2,873	-0.1 D	0.2 AB	1.3 ABC	0.01 CD	20,732 AB	
3	4,032	-1.9 FG	0.2 ABC	2.2 ABC	0.01 ABC	3	3,048	-0.8 DEF	0.3 AB	2.4 AB	0.01 BC	18,500 BC	
4	4,057	-1.8 FG	0.3 AB	2.9 A	0.02 AB	4	3,000	-1.7 G	0.3 A	2.6 AB	0.01 AB	17,172 C	
5	3,752	-1.3 EFG	0.3 A	2.5 AB	0.01 ABCD	5	2,810	-1.7 G	0.3 A	3.1 A	0.02 A	13,769 D	
6	3,367	2.2 C	0.3 AB	3.2 A	0.02 A	6	2,559	1.5 FG	0.2 AB	2.4 AB	0.01 AB	9,103 E	
7	2,974	-1.6 EFG	0.2 BCD	2.1 ABC	0.01 BCD	7	2,180	-1.3 FG	0.1 B	1.9 ABC	0.01 ABC	5,165 F	
8	2,467	-1.0 CDEF	0.2 BCD	2.0 ABCD	0.01 CDE	8	1,813	-1.1 WD	0.1 BC	2.5 AB	0.01 ABC	2,703 F	
9	1,893	-1.1 DEF	0.1 CDE	1.1 BCDE	0.01 DEF	9	1,493	-0.6 DEF	-0.1 D	-0.1 D	0.00 DE	-3,282 G	
10	1,480	-0.6 BCDE	-0.1 EF	0.6 CDE	0.00 EFG	10	1,151	0.1 BC	-0.2 D	-0.1 D	0.00 EF	-9,286 H	
11	947	0.2 BCD	0.0 DEF	-0.5 EF	0.00 GH	11	767	0.2 BC	-0.1 CD	-1.4 DE	-0.01 EFG	-14,368 I	
12	528	0.7 BC	-0.3 F	-2.7 FG	-0.01 H	12	412	0.5 ABCDE	-0.2 D	-3.6 E	-0.01 GH	-17,354 I	
13	279	1.4 ABC	-0.4 F	-3.1 FG	-0.02 HI	13	188	2.7 ABC	-0.1 ABCD	-1.6 CDE	-0.01 EFGH	-18,981 I	
14	133	0.5 ABCDEFG	-0.4 EF	-2.5 CDEFG	-0.01 FGHI	14	68	-2.1 BCDEFG	-0.1 ABCD	-3.2 BCDE	-0.01 ABCDEFGH	-19,750 HI	
15	50	4.7 AB	-0.5 ABCDEF	-5.2 CDEFG	-0.04 HI	15	48	5.4 A	-0.8 D	-4.1 ABCDF	-0.03 FGH	-27,186 I	

※ 産子番号、開催年月、開催市場、種雄牛を母数効果として最小二乗分析(SAS JMP)
 ※ 日齢は最小値、それ以外は最高値を網掛
 ※ **1%有意水準、異符号間に有意差あり

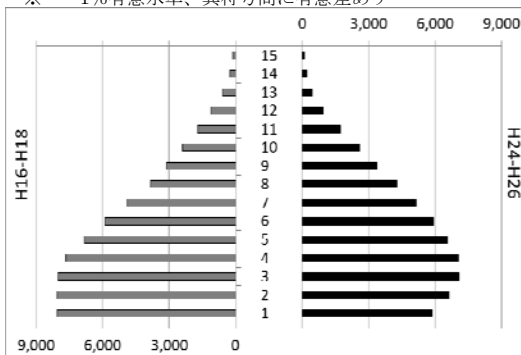


図1 産子番号別頭数

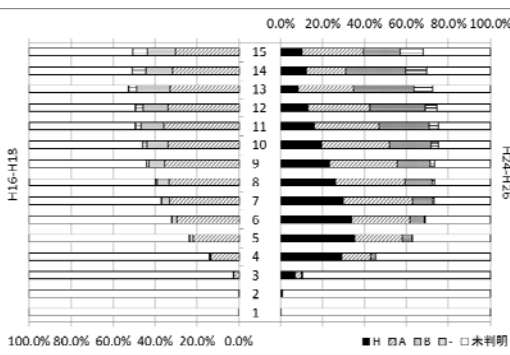


図2 産子番号と育種価表示割合(脂肪交雑)

※期間Ⅰ(H16-H18)
 A: 育種価上位1/4以上
 B: " 1/2以上1/4未満
 -: " 1/2未満
 ※期間Ⅱ(H24-H26)
 H: 育種価上位1/10以上
 A: " 1/4以上1/10未満
 B: " 1/2以上1/4未満
 -: " 1/2未満

【2 留意事項】

- 集計に用いた子牛市場成績は、県内で開催された子牛市場において、種雄牛別売買成立頭数が100頭以上のデータを抽出し、受精卵由来のデータ、産子番号16以上のデータ及び欠測値を含むデータを除いたものを用いました。なお、価格は税抜きです。
 期間Ⅰ: 雌26,522頭、去勢36,166頭、計62,688頭
 期間Ⅱ: 雌24,918頭、去勢33,041頭、計57,959頭
- 産子番号とは、繁殖雌牛から生まれた子牛に対して付与される連続した番号です。単産の場合、産次と一致します。ただし、複数産子や受精卵産子が生産された場合にも番号が付与されるため、必ずしも産次と一致しません。
- 種牛を評価する場合、発育や産肉能力のほか、繁殖能力、体型、遺伝病の有無なども考慮してください。

担当研究室 畜産研究所 種山畜産研究室

〒029-2311 気仙郡住田町世田米字子飼沢30 TEL. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177